



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)クレストフォルム磯子汐見台6 計画 新築工事	階数	地上6F
建設地	神奈川県横浜市磯子区汐見台二丁目8-2の一部	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	363 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2027年12月 予定	評価の実施日	2025年10月10日
敷地面積	7,213 m ²	作成者	(株)長谷工コーポレーション
建築面積	2,849 m ²	確認日	2025年10月10日
延床面積	11,620 m ²	確認者	(株)長谷工コーポレーション

外観パース等(任意)

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%
②建築物の取組み 72%
③上記+②以外の 72%
④上記+ 72%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.0

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合 地域環境や街並みとの調和を図り、省エネルギーや環境負荷軽減を考慮しつつ、敷地内の防犯や利便性、室内の快適性に配慮した計画としている。		その他 LED、省エネ設備を採用。
Q1 室内環境 二重壁工法によりDr-50を目標値に設定 F★★★★を床・壁・天井・天井裏の70%以上の面積に採用している。	Q2 サービス性能 劣化対策等級3を取得。	Q3 室外環境(敷地内) 建物の配置、形態、植栽を地域環境や街並みとの調和に配慮した計画としている。
LR1 エネルギー 断熱性能等級5を取得。 潜熱回収型給湯器エコジョーズを採用。 LED照明を共用部全てに採用。	LR2 資源・マテリアル 内装の更新性に配慮し二重天井を採用した。	LR3 敷地外環境 ごみ置き場を敷地内に設けることで、敷地外への環境に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



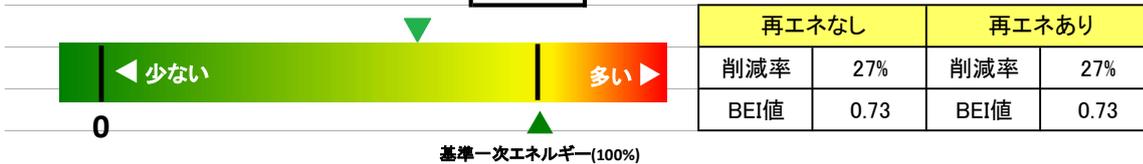
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅> 受付日 2025年10月17日

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 建物名称 (仮称)クレストフォルム磯子汐見台6 計画新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 4

■省エネルギー性能

この建物の設計一次エネルギー消費量 27 %削減



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

- ①住宅性能表示制度 断熱等性能等級における等級5を取得
- ③潜熱回収型給湯器を採用しエネルギーの有効利用を図る

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 4

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級5 (相当) ※複数の等級が混在する場合は最も低い等級とする。

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

- ⑪F☆☆☆☆・VOCの放散量が極めて少ない部材を採用

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

- ⑰住宅性能表示制度 構造躯体劣化等級3を取得

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 2

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

- ⑲植栽計画により地域性を活かしたまちなみを形成し、景観に配慮した

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
太陽光利用	
エネルギーマネジメントシステム導入	
— — —	



CASBEE横浜2025年版v1.0

(仮称)クレストフォルム磯子汐見台6 計画新築工事

バージョン

CASBEE横浜2025年版v1.0

スコアシート		重点項目		建物全体・共用部		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
		Q 建築物の環境品質				-	-	-
Q1 室内環境				-	0.40	-	-	3.7
1 音環境				3.0	0.15	3.1	1.00	3.1
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.50	3.0	0.50	-
1.2 遮音				3.0	0.50	3.3	0.50	-
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	3.0	0.30	-
2 界壁遮音性能				3.0	-	4.0	0.30	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20	-
1.3 吸音				-	-	-	-	-
2 温熱環境				3.0	0.35	4.4	1.00	4.2
2.1 室温制御				3.0	0.50	5.0	0.71	-
1 室温	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.63	-	-	-
2 外皮性能	健康・安心		⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.38	5.0	1.00	-
3 ゾーン別制御性	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	-	-	-	-	-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.20	3.0	0.29	-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.30	-	-	-
3 光・視環境				2.9	0.25	3.5	1.00	3.4
3.1 昼光利用				1.8	0.50	3.0	0.50	-
1 昼光率	快適・働きやすさ		⑩光環境	1.0	0.60	3.0	0.50	-
2 方位別開口	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	3.0	0.30	-
3 昼光利用設備	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.20	-
3.2 グレア対策				4.0	0.50	4.0	0.50	-
1 昼光制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	4.0	1.00	4.0	1.00	-
3.3 照度	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	-	-	-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	-	-	-
4 空気質環境				3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63	-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	4.0	1.00	4.0	1.00	-
4.2 換気				3.0	0.40	3.0	0.38	-
1 換気量	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33	-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	-	-	3.0	0.33	-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33	-
4.3 運用管理				-	-	-	-	-
1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	-	-	-	-	-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	-	-	-	-	-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.2
1 機能性				2.8	0.40	3.8	1.00	3.6
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60	-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	5.0	1.00	-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	1.00	-	-	-
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	2.0	0.40	-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	3.0	0.50	-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-	-
3 内装計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	1.00	1.0	0.50	-
1.3 維持管理				2.5	0.30	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ		⑫機能性	2.0	0.50	-	-	-
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-
2 免震・制震・制振性能	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.5	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	4.0	0.10	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性				2.6	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備	防災		⑰信頼性	1.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
3 電気設備	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性				3.0	0.30	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり				-	-	3.0	0.50	-
1 階高のゆとり				-	-	3.0	0.60	-
2 空間の形状・自由さ				3.0	-	3.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり				3.0	-	3.0	0.50	-

3.3	設備の更新性		3.0	1.00	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	2.0
1	生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	10生物環境の保全と創出	1.0	0.30	1.0
2	まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	19まちなみ・景観への配慮	2.0	0.40	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	20地域性への配慮	3.0	0.50	-
3.2	敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	14敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	3.4
LR1	エネルギー		-	0.40	-	3.9
1	建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	1建物熱負荷抑制	4.0	0.20	4.0
2	自然エネルギー利用	省エネルギー性能	2自然エネルギー利用	2.0	0.10	2.0
3	設備システムの高効率化			4.7	0.50	4.7
	集合住宅以外の評価	省エネルギー性能	3設備システムの高効率化	-	-	-
	集合住宅の評価	省エネルギー性能	3設備システムの高効率化	4.7	1.00	-
4	効率的運用			3.0	0.20	3.0
	集合住宅以外の評価			-	-	-
4.1	モニタリング	省エネルギー性能	4効率的運用	-	-	-
4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	4効率的運用	-	-	-
	集合住宅の評価			3.0	1.00	-
4.1	モニタリング	省エネルギー性能	4効率的運用	3.0	0.50	-
4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	4効率的運用	3.0	0.50	-
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	2.8
1	水資源保護		2.2	0.20	-	2.2
1.1	節水		1.0	0.40	-	-
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-
2	非再生性資源の使用量削減		2.9	0.60	-	2.9
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		5.0	0.20	-	-
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用		4.0	0.30	-	-
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-
1	消火剤		-	-	-	-
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-
3	冷媒		3.0	0.50	-	-
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	3.5
1	地球温暖化への配慮		4.1	0.33	-	4.1
2	地域環境への配慮		3.1	0.33	-	3.1
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-
3	交通負荷抑制		5.0	0.25	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-
3	周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	3.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-
1	騒音		3.0	1.00	-	-
2	振動		-	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-
3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-
3.3	光害の抑制		4.4	0.20	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		5.0	0.70	-	-
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-
上記以外の重点項目						
<事務用途>						
知的生産性向上への取組						
	快適・働きやすさ		13知的生産性向上への取組	-	-	-
<住宅用途>						
健康と安心						
1	化学汚染物質の対策	健康・安心	6健康対策	3.0	-	-
2	適切な換気計画	健康・安心	6健康対策	3.0	-	-
3	結露・カビ対策	健康・安心	6健康対策	3.0	-	-
4	犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	7防犯対策	1.0	-	-